

評価項目及び評価基準

1 評価点

評価点の算出方法は、次の合計点数とする。

技術審査点数（500 点満点）＋価格審査点数（100 点満点）＝合計点数（600 点満点）

2 技術審査点の点数化の方法

選定委員 1 人当たりの技術審査点の配点は、各 100 点とする。また、表 1 評価項目及び配点（以下「表 1」という。）に示す評価項目ごとに、表 2 評価基準（以下「表 2」という。）で示す基準により評価し、各選定委員が項目ごとに算出した点数の合計を技術審査点数とする。なお、各評価項目の点数及び技術審査点数の計算方法は次に掲げるとおりとする。

（１）各評価項目の点数＝表 1 の各項目の配点×表 2 の評価による分配率

※小数点第 2 位まで求める（小数点第 3 以下は切り捨てる）

（２）技術審査点数＝前号で算出した各評価項目の点数の合計

※小数点第 2 位まで求める（小数点第 3 以下は切り捨てる）

表 1 提案内容審査項目の評価の視点

評価結果項目			評価の着眼点	配点
競技別リハーサル大会	業務体制	組織力	【十分な人員配置・組織構築がなされているか】 ・効率的な会場設営・撤去が行える人員体制は適当か ・現場責任者、技術者の配置は適切か	5
		技術力・実績	【国スポ会場設営業務の実績があり、評価できるか】 ・過去 10 大会における国スポ会場設営業務の元請履行実績 ・ウエイトリフティング競技・バレーボール競技会場設営の経験と専門知識	10
		実現性	【履行期間中の工程が十分に実現性のあるものか】 ・本業務のスケジュールは妥当性、実現性のあるものか ・設営から撤去、検証までの一体的な工程管理	5
	特性の理解・対応	競技特性の理解	【ウエイトリフティング競技・バレーボール競技の特性、課題の理解及びその対応策】 ・競技の特性、課題を正確に理解しているか ・競技の課題に対する対応策は、過去の経験を生かした実現性のあるものか ・現在の設計を再考し、より安価で効率的な設計の提案があるか	15
		会場特性の理解	【各競技会場の特性、課題の理解およびその対応策】 ・会場の特性、課題を正確に理解しているか ・会場の課題に対する対応策は、過去の経験を生かした実現性のあるものか ・現在の設計を再考し、より安価で効率的な設計の提案があるか	15
	危機管理対応		【荒天時・緊急時の対応策について】 ・荒天時における仮設物等の撤去及び復旧計画は即時性及び安全性のある実現可能な提案であるか ・緊急時の連絡体制、対応手順は適切か	10
	本大会への反映	図面修正業務		【国スポ本大会図面修正業務の進め方】 ・本大会図面修正業務の進め方は、過去の経験を生かした実現性のあるものか ・リハーサル大会での検証結果を本大会に確実に反映する手法
行幸啓・お成り等の対応		【行幸啓・お成り等の会場となった場合の考え方】 ・行幸啓、お成り等の会場となった場合の考え方について、効率的かつ安全性が確保された提案であるか	10	
その他	地域貢献	市内業者活用	【小林市内事業者の活用に関する提案】 ・小林市内事業者の活用に関する具体的で実現性のある提案があるか ・地域経済への貢献度が高い提案となっているか ・市内事業者との連携体制が明確に示されているか	15
	環境配慮		【環境に配慮した大会運営への提案】 ・環境負荷軽減に配慮した提案があるか ・持続可能な大会運営への工夫があるか	5
合計				100
価格	提案内容に対する価格設定の適正			100

表2 評価基準

評価	評価内容	点数の算出方法（配分率）
A	特に優れている	配点×100%
B	優れている	配点×80%
C	普通	配点×60%
D	やや劣る	配点×40%
E	劣る	配点×20%
F	対応できていない	配点×0%

3 価格審査の点数化方法

価格審査の配点は、100点とする。価格審査における価格審査点数は、次の式によって算出する。

$$\text{価格審査点数} = (\text{最低見積価格} \div \text{提案価格}) \times 100 \text{点}$$

※小数点第3位以下は切り捨てる。

4 その他

- （1）合計点数が、配点の5割を下回る場合には、受注候補者として選定しない。
- （2）審査の結果、評価点と同点の場合は、価格審査点数の点数が高い者から順位付けを行い、価格審査点も同点の場合は、選定委員会の委員の多数決の上、委員長が受注候補者を決定する。